

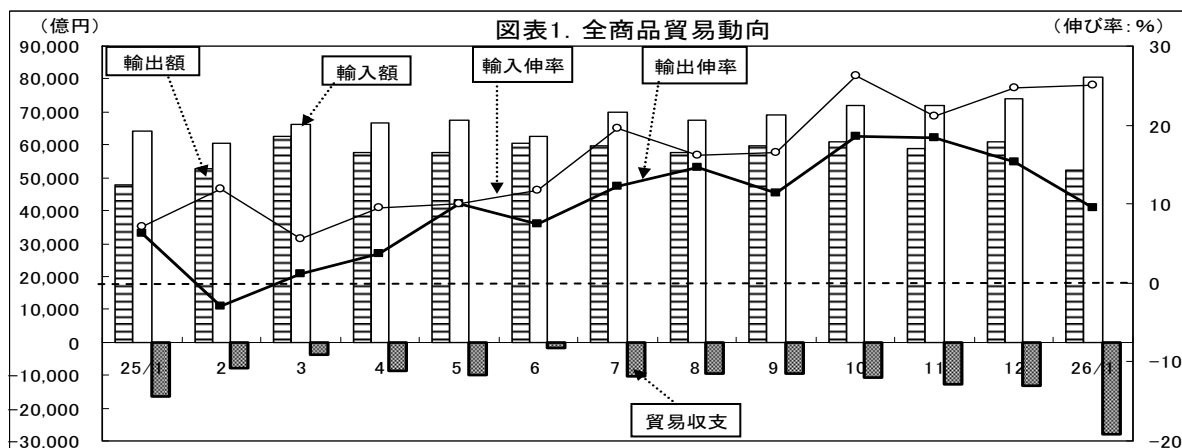
# 最近の機械貿易動向(1月)～機械輸出、11ヶ月連続プラス、為替要因除き4ヶ月ぶり減～

日本機械輸出組合 2014.3.20.

平成26年1月の機械輸出額は3兆3,223億円、対前年同月比9.5%増と9ヶ月連続でプラスとなった。これは、①円安によって円建て輸出額が増加したこと、②EU、北米、中国向けが二桁増になったこと、③機械輸出額の約35%を占める自動車の伸びが12.6%増となったことに加え、産業機械が二桁増になったことなどによる。為替・営業日・春節が11.1%の増加要因であったことを考慮すると、実質的な伸び率は1.6%減と4ヶ月ぶり減となった。2月も円安が続き、営業日や春節の影響を考慮すると、合計8.6%の増加要因となる。仮に1月の機械輸出額の実質的伸び(1.6%減)が続くとすれば、前年比7.0%増と予想されるが、3月19日発表の貿易統計速報を基にした簡易計算では2月の機械輸出は10.5%増となった。

## 1. 全商品貿易動向～輸出は11ヶ月連続でプラス、貿易収支は19ヶ月連続で赤字～

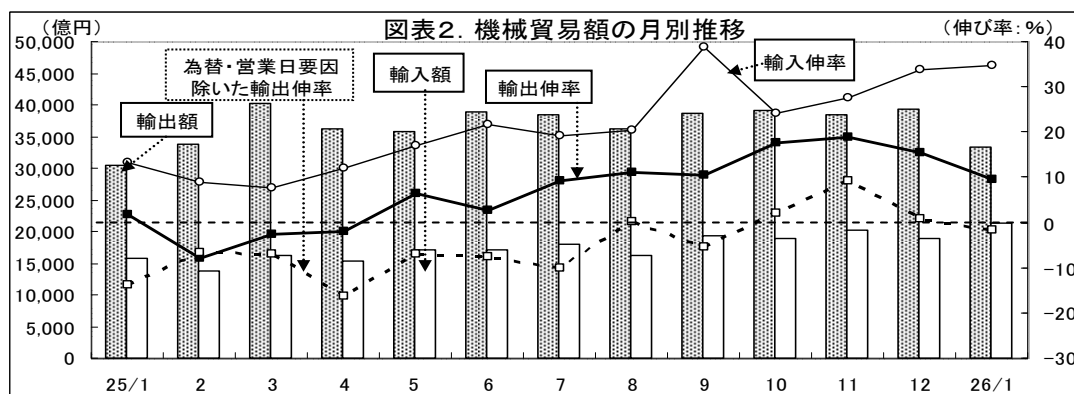
- 平成26年1月の全商品輸出額は**5兆2,524億円**、前年同月比(以下同じ)**9.5%増**と11ヶ月連続でプラスとなった(平成25年12月15.3%増)。これは円高是正による輸出額の増加と全輸出額の約12%を占める有機化合物・プラスチック等化学製品(14.5%増)、約19%を占める一般機械(13.6%増)、16%の電子部品・電気計測機器等電気機器(10.2%増)等の増加が寄与した。
- 輸入額は**8兆441億円**、**25.1%増**と15ヶ月連続増となった(12月24.7%増)。これは、円高是正効果に加え、全輸入額の13%を占める通信機等電気機器(33.7%増)、8%の一般機械(37.5%増)及び非鉄金属・金属製品等原料別製品(29.0%増)、4%の航空機類等輸送用機器(41.1%増)等が増加したためである。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は2兆7,917億円の赤字で、一昨年7月以来19ヶ月連続で、また、1月としては1979年以来最大の赤字となった。



## 2. 機械貿易動向

### (1) 機械輸出入動向～機械輸出9ヶ月連続、輸入は17ヶ月連続で増加～

- 全商品輸出額の約63%を占める1月の機械輸出額は**3兆3,223億円**、**9.5%増**と9ヶ月連続でプラスとなった(12月15.5%増)。しかし、輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年1月)と比べると**75.9%**となり、前月よりやや後退した(12月76.8%)。
- 一方、全商品輸入額の26%を占める機械輸入額は、**2兆1,290億円**、**34.7%増**と17ヶ月連続の増加で、ここ半年20%を超える高い水準が続いている(12月33.6%増)。また、輸入額は、平成20年1月の**124.0%**と、10ヶ月連続してリーマンショック前の水準を上回っている(12月112.5%)。

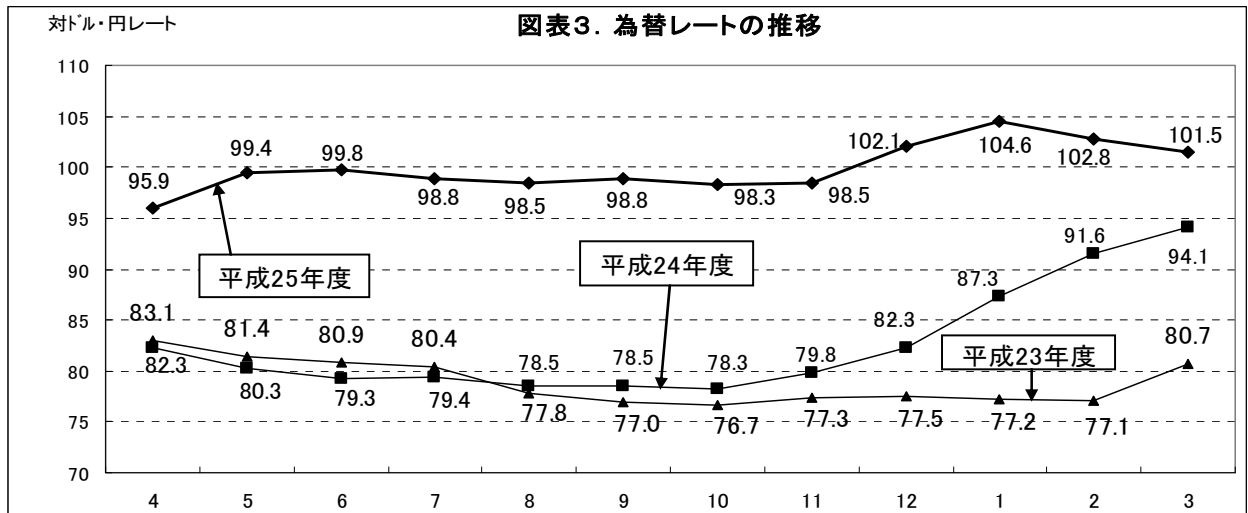


(2) 為替動向・営業日～1月は12.1%の大幅増加要因、2月は8.6%の増加要因～

1) 1月は1ドル=104.6円と円高是正が続き、前年に比べ19.8%の円安となった。また、対ユーロも142.9円と前年に対して24.7%と円安が進み、合わせて約12.1%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じであるが、春節の影響で1.0%の減少要因となり、合計11.1%の増加要因となる。1月の輸出額は9.5%増であったことから、実質的伸び率は1.6%減と4ヶ月ぶりのマイナスとなった(12月0.8%増)。

2) 2月は1ドル=102.8円と円高是正傾向が続き、前年に比べ12.2%の円安となった。また、対ユーロでは139.8円で前年に対し13.3%の円安となり、合わせて約7.3%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じであるが、春節の影響で1.3%の増加要因となり、合計8.6%の増加要因となる。

3) 3月は、対ドルが3月19日17:00時点の101.5円とすれば、前年に比べて7.9%の円安、また、対ユーロも141.4円と14.6%の円安となり、合わせると約5.1%の為替増加要因となる。営業日は前年と同じであるがため、合計で5.1%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～EU、北米、中国向けが二桁増、その他地域向けが1.2%減～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①機械輸出額の13.1%を占めるEU向けは、全体の約32%を占める自動車(27.7%増)をはじめ、19%の産業機械(21.1%増)、重電気機械(39.3%増)、建設機械(81.1%増)、電子デバイス(24.7%増)が大幅にプラスとなり、**22.6%増**と8ヶ月連続でプラスとなった。②25.8%と最大輸出先となった北米向けでは、全体の約50%を占める自動車(17.2%増)、重電気機械(32.2%増)、電気・電子計測器等軽電気機械(33.6%増)、運搬機械(36.4%増)が増加して**18.4%増**となり、③14.6%を占める中国向けでは、自動車(53.2%増)、半導体製造装置等産業機械(22.8%増)、光学機械(20.8%増)等が大きく伸び、**17.7%増**となった。④25.6%のNIES/ASEAN向けでは、ベトナム(21.2%増)が6ヶ月連続、インドネシア(11.1%増)が3ヶ月連続で二桁増加となったものの、タイ向けが二桁減となり、業種では、産業機械(3.3%増)、電子デバイス(6.7%増)、軽電気機械(5.9%増)等が増加して**1.2%増**となった。

2) 他方、機械輸出額の20.9%を占める**その他地域向け**は、中近東(29.8%増)、ロシア東欧等(13.3%増)、大洋州(14.8%増)向けが二桁増となったものの、中南米(26.9%減)、インド(13.7%減)が大幅減となり、機種では、全体の約54%を占める自動車(7.6%増)が増加となったものの、船舶(40.0%減)が大幅減となり、**1.2%減**となった。

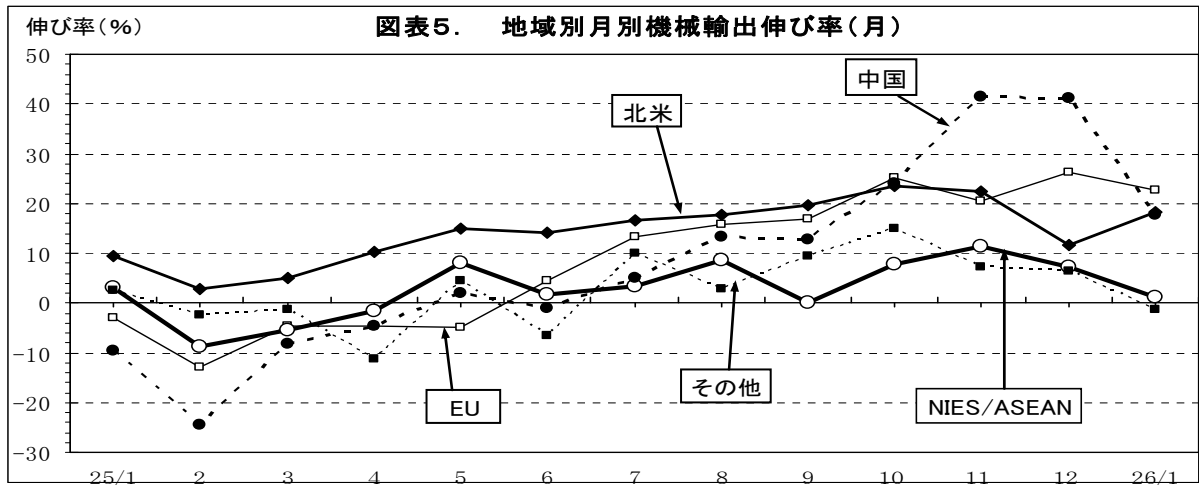
3) また、リーマンショック前の平成20年1月の地域別輸出額と比較すると、中国(97%)、北米(86%)、NIES/ASEAN(78%)、その他地域(68%)、EU(58%)と、全ての地域が水準以下であった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2013/11			2013/12			2014/1			対08年 1月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	38,409	18.7	100	39,273	15.5	100	33,223	9.5	100	0.76
北米	9,811	22.4	25.5	9,522	11.7	24.2	8,562	18.4	25.8	0.86
EU	4,262	20.4	11.1	4,755	26.3	12.1	4,365	22.6	13.1	0.58
NIES/ASEAN	10,464	11.3	27.2	10,575	7.3	26.9	8,494	1.2	25.6	0.78
中国	6,837	41.5	17.8	7,377	41.0	18.8	4,844	17.7	14.6	0.97
その他	7,035	7.2	18.3	7,044	6.4	17.9	6,958	▲1.2	20.9	0.68

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2013/10		2013/11		2013/12		2014/1	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,048	29.5	1,742	11.2	1,741	3.5	1,472	▲ 2.9
台湾	1,549	1.0	1,697	22.7	1,937	18.1	1,521	8.7
香港	1,622	12.8	1,665	7.2	1,578	14.4	1,184	▲ 0.3
タイ	1,710	▲ 12.5	1,768	▲ 6.1	1,718	▲ 12.1	1,396	▲ 14.2
シンガポール	808	17.5	992	42.2	833	16.2	746	7.5
インドネシア	881	9.4	838	10.1	932	17.4	758	11.1
マレーシア	774	0.0	703	13.2	767	4.3	583	9.0
フィリピン	534	5.3	496	▲ 0.7	489	▲ 0.4	448	4.2
ベトナム	455	39.5	456	26.8	483	26.3	320	21.2
その他地域								
中南米	2,459	19.4	1,957	▲ 2.5	1,984	4.4	1,880	▲ 26.9
中近東	1,755	19.2	1,831	24.6	1,917	23.9	1,627	29.8
大洋州	1,103	8.0	1,066	▲ 4.4	998	▲ 9.7	1,078	14.8
ロシア東欧等	1,410	29.9	1,043	4.8	1,060	8.3	1,335	13.3
アフリカ	602	5.4	703	52.9	584	0.8	609	▲ 9.8
インド	337	▲ 16.1	316	▲ 21.0	374	▲ 17.5	317	▲ 13.7

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～19業種中2業種がマイナス、自動車は10月連続、産業機械は9ヶ月連続プラス～

- 1)業種別では、全19業種中2業種がマイナスであった。全体の約35%の自動車(12.6%増)が10ヶ月連続、約17%の産業機械(12.7%増)が9ヶ月連続でプラスとなったほか、建設機械、通信機械、ベアリング、繊維機械が20%を超える高い伸びとなった。
- 2)この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは医療機械、ベアリング、光学機械の3業種で、電子計算機、民生用電子機械は40%台、産業車両、通信機械は50%台の低い水準にある。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2013/11			2013/12			2014/1			対08/1比
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	
自動車	13,916	25.5	自動車	13,775	18.8	自動車	11,715	12.6	0.73
産業機械	6,404	21.2	産業機械	7,008	16.9	産業機械	5,508	12.7	0.84
電子デバイス	2,866	3.6	電子デバイス	2,956	6.1	電子デバイス	2,547	7.9	0.69
軽電気機械	1,962	16.8	軽電気機械	2,053	14.2	軽電気機械	1,659	11.6	0.76
重電気機械	1,864	12.8	重電気機械	1,964	10.7	船舶	1,579	▲ 31.2	0.64
民生用電子機械	1,600	6.0	軽機械	1,573	17.0	重電気機械	1,564	14.0	0.91
軽機械	1,500	20.7	民生用電子機械	1,567	10.3	軽機械	1,223	12.3	0.81
光学機械	1,389	7.6	光学機械	1,523	15.1	民生用電子機械	1,205	1.5	0.45
船舶	1,365	18.2	建設機械	1,065	15.5	光学機械	1,197	10.7	1.03
建設機械	921	26.8	船舶	866	▲ 2.2	建設機械	860	30.7	0.76
工作機械	678	▲ 12.9	工作機械	819	1.7	工作機械	620	▲ 2.9	0.90
通信機械	530	34.4	電子計算機	569	28.0	通信機械	457	25.5	0.57
電子計算機	489	21.5	通信機械	531	21.4	電子計算機	392	5.8	0.43
医療機械	395	21.6	医療機械	430	25.3	ベアリング	356	30.0	1.16
ベアリング	387	19.7	ベアリング	387	19.1	陸用内燃機関	308	13.0	0.83
陸用内燃機関	329	5.1	陸用内燃機関	361	9.1	医療機械	305	6.2	0.9
繊維機械	237	53.0	繊維機械	235	56.4	繊維機械	164	30.2	0.86
農業機械	163	10.5	農業機械	172	21.6	農業機械	143	11.7	0.67
産業車両	123	6.2	産業車両	123	5.6	産業車両	103	10.6	0.54
19業種合計	37,117		19業種合計	37,976		19業種合計	31,905		0.74

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品。

軽電気機械:白物家電、電子計測器。軽機械:分析器。光学機械:光学材料、カマ。

**(5) 機種別動向～半導体製造装置等が大幅増加、発電機が大幅減～**

1) 1月で10%以上の伸び率を示した機種は、①NIES/ASEAN、中国向け**半導体製造装置**(67.6%増)、②北米、EU、中国向け**産業用ロボット**(35.8%増)、③北米、EU等向け**TV**(35.4%増)、④北米、その他地域向け**建設機械**(30.8%増)、⑤その他地域、中国向け**繊維機械**(30.6%増)、⑥全地域向け**ベアリング**(30.2%増)、⑦北米、中国、EU向け**通信機械**(25.5%増)、⑧NIES/ASEAN、その他地域向け**運搬機械**(17.7%増)、⑨北米、その他地域向け**乗用車**(16.0%増)、⑩NIES/ASEAN等向け**バルブ・コック**(13.7%増)であった。  
 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、発電機(45.3%減)、船舶(31.2%減)、原動力機械(22.8%減)、デジカメ・ビデオ(15.8%減)、金属加工機(11.1%減)であった。

**図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)** (単位: 億円)

2013/11			2013/12			2014/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体製造装置	1,126	117.7	繊維機械	235	56.4	半導体製造装置	1,204	67.6
繊維機械	237	53.0	半導体製造装置	1,443	49.4	産業用ロボット	94	35.8
産業用ロボット	116	41.6	電子計算機	569	28.0	TV	94	35.4
通信機械	530	34.4	磁気カード・ディスク等	173	28.0	建設機械	860	30.8
乗用車	8,303	34.1	電池	233	27.2	繊維機械	164	30.6
建設機械	921	26.8	医療機械	430	25.3	ベアリング	356	30.2
バルブ・コック	372	25.8	TV	105	24.8	通信機械	457	25.5
運搬機械	295	24.2	農業機械	172	21.6	運搬機械	222	17.7
TV	99	22.0	乗用車	7,779	21.5	乗用車	6,850	16.0
電気・電子計測器	391	21.9	通信機械	531	21.4	バルブ・コック	333	13.7
機種合計	12,390	32.3%	機種合計	11,670	29.7%	機種合計	10,634	32.0%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

**図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内)** (単位: 億円)

2013/11			2013/12			2014/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
工作機械	678	▲12.9	-	-	-	発電機	56	▲45.3
機種合計	678	1.8%	機種合計	-	-	船舶	1,579	▲31.2
						原動力機械	329	▲22.8
						デジカメ・ビデオ	289	▲15.8
						金属加工機械	204	▲11.1
						機種合計	2,457	7.4%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内・機種合計の%は輸出額に占める割合

**(6) 機械輸入動向～電子デバイス、電子計算機、自動車部品が大幅増～**

1) 1月の機械輸入伸び率は34.7%増と10ヶ月連続二桁増となり、円高是正効果と国内需要増を反映して高い伸びとなった。これは、輸入上位機種である電子デバイス(58.0%増)、電子計算機(31.1%増)、自動車部品(55.7%増)が大幅に増加したほか、乗用車(13.6%増)、白物家電(41.3%増)、航空機類(78.5%増)、医療機械(21.9%増)、民生用電子部品(40.7%増)、分析・試験・検査機(44.8%増)、光学機械(12.0%増)、TV(62.5%増)が二桁以上の増加となったためである。他方、上位12機種で減少したものはなかった。  
 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子デバイス、電子計算機、携帯電話、白物家電、医療機械、TV、時計、ラジオ、録画・再生機器、写真機となっている。  
 3) 地域別機械輸入額は、全体の45%を占める中国(35.3%増)、ASEAN(39.5%増)、EU(35.9%増)、北米(30.2%増)、韓国・台湾(33.1%増)の順となり、全地域からの伸びが30%増以上となった。

**図表10. 機械輸入額上位12機種** (単位: 億円、%)

2013/11				2013/12				2014/1			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
携帯電話	2,240	15.7	11.0	電子計算機	2,199	28.3	11.7	電子デバイス	2,578	58.0	12.1
電子デバイス	2,140	37.0	10.6	電子デバイス	2,130	39.4	11.3	電子計算機	2,537	31.1	11.9
電子計算機	1,949	24.0	9.6	携帯電話	1,260	40.4	6.7	携帯電話	1,415	4.4	6.6
航空機類	1,181	240.4	5.8	乗用車	1,193	57.7	6.3	自動車部品	1,169	55.7	5.5
自動車部品	1,017	40.7	5.0	自動車部品	1,002	57.1	5.3	乗用車	926	13.6	4.3
乗用車	921	5.6	4.5	白物家電	700	37.8	3.7	白物家電	799	41.3	3.8
白物家電	728	23.4	3.6	医療機械	643	28.0	3.4	航空機類	701	78.5	3.3
医療機械	673	35.7	3.3	分析・試験・検査機	382	35.9	2.0	医療機械	651	21.9	3.1
民生用電子部品	373	25.9	1.8	TV	360	38.0	1.9	民生用電子部品	420	40.7	2.0
光学機械	362	4.9	1.8	民生用電子部品	359	49.1	1.9	分析・試験・検査機	412	44.8	1.9
分析・試験・検査機	347	6.7	1.7	光学機械	354	10.6	1.9	光学機械	369	12.0	1.7
TV	313	43.6	1.5	航空機類	342	▲28.4	1.8	TV	351	62.5	1.6
12機種合計	12,244		60.4	12機種合計	10,924		58.0	12機種合計	12,328		57.9

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電: 民生用電気機械